



発行者兼編集者
鶴戸神宮社務所
印刷所
西日本印刷

楼門の飾り絵馬



平成十一年の新しき年の新しき日を迎える謹んで
新春のお祝詞を申し上げます。

歳旦祭を元旦の午前零時より斎行し、この年の
ご皇室の弥栄と氏子崇敬者の皆様の繁栄と幸福そ
して五穀の豊穣、産業の発展をお祈り申し上げま
した。

皆様方それぞれ門松を飾り、メ縄をかけ、若水
を汲み、新しき年をめでたくお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は「卯」の年でござりますが、「うさぎ」の年で、毎月の第一の卯の日が
当宮の「ご縁日」として、長く神事を斎行してまいりました。その意味で、鶴戸
神宮としても、ゆかりの年であります。今年はまさに、兎が飛び跳ねる「飛躍す
る」よき年となり政治も、経済も社会も、又皆様も鶴戸神宮の大神様の大稟威を
蒙り良き年になるよう念願しているところでございます。

さて昨年六月九日の大雨で崩壊した参道の復旧も、宮崎県のご指導のもと順調
に進み去る十一月末で参道は参詣するには何ら支障ないまでに復旧することが出
来ました。この間全国の皆様からお寄せいただきました、激励や、お見舞、又誠
意あふれる復旧に対するご净財等は何よりも力となり、ここに厚くお礼申し上げ
ます。

鶴戸神宮は、自然の織りなす波涛と奇岩、風光明媚なる巖窟に神鎮りましてそ
の風趣を生かすべくこの度の復旧も自然との調和、自然を損なわぬよう充分配慮
して施工いたし、あとは千鳥橋の欄干と灯籠の修復等が残るのみとなりました。
社頭は新しき年を迎える益々殷賑を極めております。東方海上に朝日の昇を見る思
いがいたします。是非、お誘い合わせてご参詣下さい。

ここに年頭にあたり皆様の平安とご多幸をお祈りしてご挨拶いたします。

謹
賀
新
年

宮司 杉田 秀清



Welcome to Udo Jingu.

由緒
二折牘
境内案内
年中行事
交通
Q & A

ページを開設した。これは各方面からの問合わせも多く、又、パソコンの普及率も高くなり、インターネットを利用する人々も一千万人に達し、年々急増している事から教化の一環として開設した。

ホームページ開設

項目は、由緒・ご祈願・境内案内・年中行事・Q&Aの六つになつてゐる。ホームページアドレスは左記の通り。

項目は、由緒・**ご**祈願・
境内案内・年中行事・Q&
Aの六つになつてゐる。ホ
ームページアドレスは左記
の通り。

社務日誌抄

正典氏他6名参
6月1日 拝
6月2日 責任役員委嘱式
鶴戸神宮敬神婦
人会総会
大阪天満宮宮司
寺井種伯氏他42
名参拝
6月4日



大本教副教主 出口京太郎氏



大阪天満宮宮司 寺井種伯氏

十一月二十三日、新嘗祭が宮中をはじめ全国の神社で齋行された。新嘗祭は、新穀を神々に捧げ、その恵に感謝する儀であり、宮中では天皇陛下が新穀を天神地祇にお供えして、収穫を神恩に感謝すると共に御自ら聞し召さる。



宮司以下祭員によつて厳粛に斎行され、責任役員、総代をはじめ崇敬者等多数の参列を賜つた。

新嘗祭斎行

災害復旧工事経過報告

先般六月九日に起つた
参道の土砂崩れ災害は、各

進捗状況に併せながら着工の予定である。



八丁坂の最高所に位置する別当墓地には、第五十代桓武天皇の延暦元年に初代別当となつた僧、光喜坊快久の墓と伝えられる五輪塔をはじめ、第五十九世、觀空法印までの代々の別当ならびに、歴代宮司の墓がある。

これらの墓石は、風化によりいつ頃立てられたのか不詳の物も多い。この為、墓石の風化による年代調査が九月十六、十七日の両日、熊本大学教授工学博士 平田篤夫氏らによつて行わされた。この調査報告書は、今年発表される予定である。

別當宮司
墓地墓石調查

平成11年 厄祓一覧表 (但、数え年)

女性		男性	
	厄入		厄入
昭和44年 31才		昭和35年 40才	
昭和39年 36才	昭和43年 32才	昭和57年 18才	前厄
昭和38年 37才	昭和42年 33才	昭和56年 19才	本厄
昭和37年 38才	昭和41年 34才	昭和55年 20才	後厄
	昭和40年 35才		厄明

厄入・厄祓・厄明の御案内

厄年は人生の転機にあたり、心身共に苦労の多い年令と言われています。年のは始めに御参拝を賜り御祈祷を受けられまして、本年も無病息災にお過し下さいますよう御案内申し上げます。

七五三詔



表 彰

九月二日、県神社庁総会に於いて崇敬者総代富士正氏が神社神道の昂揚に特に顕著な者として、又、金川兵三郎氏、坂元忠男氏、吉澤家光氏、上倉与七氏、門川校雄氏、五名が総代十年以上勤続として表彰された。

これらは永年の功績が認められたものであり、当宮としても大変光榮なことである。

巫女 日高 瑞恵
生年月日 昭和五十四年三月四日
趣味 旅行
最終学歴 根性
日南振徳商業高等学校

新職員紹介

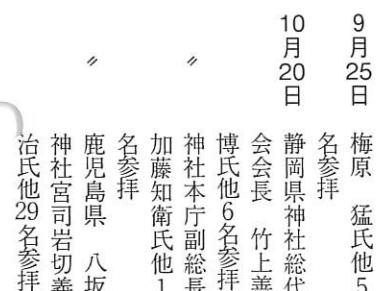
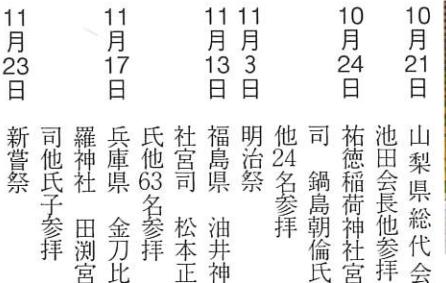
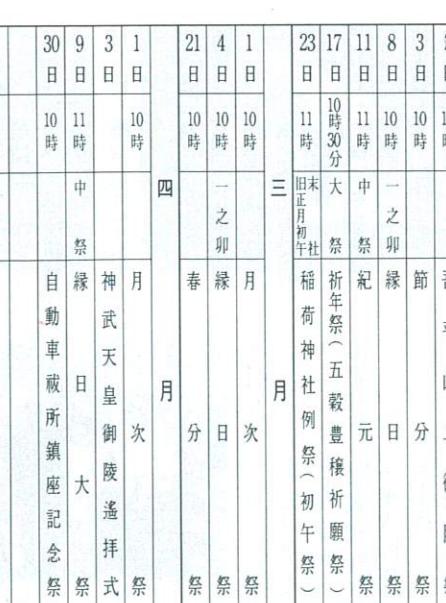
佐師 朝規
鶴戸神宮祢宜 谷口 正史
神職身分二級とする
神社本庁（九月一日）



東京都神社庁杉並支部

彦氏他12名参拝
東京都神社庁杉並支部大宮八幡宮宮司 鎌田紀
外山勝志氏他1名参拝 明治神宮宮司 外山勝志氏

寒川神社宮司 多田一馬氏

梅原 猛氏他5名参拝
静岡県神社總代会
神社本庁副総長 梅原猛氏
加藤知衛氏他1名参拝
鹿児島県八坂神社宮司岩切義治氏他29名参拝池田会長他参拝
山梨県總代会
祐徳稲荷神社宮司 鍋島朝倫氏
他24名参拝
10月21日稻荷神社
社宮司
那須通丸氏他21名参拝
11月23日西之宮
稻荷神社
社宮司
那須通丸氏他63名参拝
11月13日

梅原 猛氏

平成十一己卯年鶴戸神宮御神事一覧表(一月～六月)

參道復旧協贊者芳名

金匱要略

10

鶴 戸

(第47号)

鷄 戶

鶴 戸

(第47号)

鵝戶

編集後記

○社報第四十七号をお届けいたします。
○今年は卯年。私たちは、月で兔が餅をついでいると聞かされました。ここは一つ、兎さんに「不況」という文字を白に入れ、杵でつき砕いてもらい、「景気回復」という文字に、つき直してもらいたいものです。